



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,360	△10.6	473	10.6	494	4.1	227	△28.0
2020年3月期	7,112	△0.5	428	15.0	474	21.8	316	44.7

(注) 包括利益 2021年3月期 337百万円 (46.5%) 2020年3月期 230百万円 (78.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	36.10	—	1.6	3.0	7.4
2020年3月期	50.08	—	2.3	2.9	6.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	16,309	14,093	86.2	2,234.70
2020年3月期	16,210	14,008	86.2	2,210.30

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,060百万円 2020年3月期 13,973百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	912	351	△253	2,651
2020年3月期	1,018	△383	△221	1,659

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	221	69.9	1.6
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	188	83.1	1.3
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		179.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,270	6.7	65	△64.7	80	△54.7	55	△56.2	8.74
通期	6,730	5.8	125	△73.6	145	△70.7	105	△53.9	16.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	6,992,000株	2020年3月期	6,992,000株
2021年3月期	699,882株	2020年3月期	669,882株
2021年3月期	6,310,580株	2020年3月期	6,322,118株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,179	△9.0	472	15.0	503	13.3	239	△24.7
2020年3月期	6,790	0.7	410	11.5	444	7.8	317	32.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	37.95	—
2020年3月期	50.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,835	13,678	86.4	2,173.96
2020年3月期	15,692	13,548	86.3	2,143.05

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,678百万円 2020年3月期 13,548百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済情勢は、新型コロナウイルス感染症が供給面・需要面に与えるマイナスの影響から消費や投資が急速に縮小し、危機の連鎖を生み、世界経済は異次元の危機に直面しました。後半においては、ワクチンの供給が具体化されたことなどにより、国内外において景況感の回復が見られたものの、新型コロナウイルスの変異種による再拡大の懸念などから、依然として個人向けサービス業などを中心に予断を許さない状況が続いております。

いくつもの事業分野に製品を提供させていただいている当社グループにおきましても、繊維、製紙・印刷、化粧品関係などにおいて新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。人と人の接触に制限がある中ではありますが、『人そして地球を豊かにする「もの」を提供していく』という目的を実現すべく、現場の状況を理解したスペシャリストが細かく対応しながら、取引先とともに製品を創り上げていく従来のスタイルを継続してきました。また、さらなる高付加価値製品を生み出すために、新たな分野への取り組みを各取引先との連携をより密にしながら挑戦し続けてまいりました。そして一方では、製造経費や販売費及び一般管理費の削減努力を引き続き行ってきました。

その結果、当連結会計年度の売上高は6,360百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は473百万円（同10.6%増）、経常利益は494百万円（同4.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は227百万円（同28.0%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内外とも新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、国内市場においては衣料分野、産業分野とも市況が低迷し北陸市場への発注が前年同期を大きく下回りました。海外市場においても中国市場は回復の兆しが少し見えるものの、当社グループがターゲットとする高級衣料分野が低迷し前年同期を下回り、全体では前年同期を大きく下回る結果となりました。

製紙・印刷関係は、紙加工分野の出版物やパッケージが減少し、またダイレクトメール用圧着ニス市場縮小傾向も続いており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響から市場全体が縮小し、G o T o キャンペーンの影響で回復の兆しが一時的にあるものの、全体として前年同期を大きく下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内外市場とも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、テレワーク等働き方の変化および外出自粛等の影響でヘアセット用樹脂は大きく低迷し、洗浄剤用樹脂は洗浄系商品の国内消費が堅調で好調を維持しましたがヘアセット用樹脂の低迷をカバーするまでには至らず、全体として前年同期を大きく下回る結果となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂では国内外とも繊維関係は低迷するものの主要分野であるフィルム関係は全体的に好調を維持し、国内フィルム市場では新規の高機能フィルムが堅調に推移、海外フィルム市場では新規ユーザーでの採用および使用もあり堅調に推移し、全体として前年同期を上回る結果となりました。

転写関係の国内リフォーム市場は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント類の減少から景品関連が激減し、全体としては低調に推移しました。

メッキ関係は、新型コロナウイルス感染症の影響で自動車工場が一時稼働停止したことなどにより、前半期は厳しかったものの後半期に巻き返し、年間を通じては若干のマイナスで推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は5,463百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益1,047百万円（同1.1%増）となりました。

(混合系製品)

国内市場における電子部品関連製品は、レジストインク関係では新型コロナウイルス感染症の影響によりアミューズメント及び車載関連が低調となりましたが、5G通信分野は順調に推移しました。またエネルギー関連製品はさらなる効率アップを目標に、顧客との共同開発を進めました。

海外市場においても5G通信分野とパソコン分野は順調に推移しましたが、レジストインク関係では新型コロナウイルス感染症の影響で、前半期は一般家電用途や車載関連が大幅に減少、後半期は回復基調となりましたが、前半期の減少を埋めるには至らず、混合系製品全体としても前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は897百万円（前年同期比8.1%減）、営業損失20百万円（前年同期は損失22百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

このため、前連結会計年度の各セグメントの営業利益又は損失については変更後の算定方法により組替えて比較を行っております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は前連結会計年度末に比べ609百万円減少し9,452百万円となりました。これは、現金及び預金が307百万円、受取手形及び売掛金が145百万円、電子記録債権が41百万円、商品及び製品が87百万円、原材料及び貯蔵品が7百万円、その他に含まれております未収法人税等が11百万円、貸倒引当金が7百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ709百万円増加し6,856百万円となりました。これは、有形固定資産が459百万円、投資その他の資産が249百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は16,309百万円と前連結会計年度末に比べ、99百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べ178百万円減少し1,500百万円となりました。これは、未払金が40百万円増加しましたが、その他に含まれております未払消費税等が132百万円、支払手形及び買掛金が35百万円、電子記録債務が47百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ193百万円増加し715百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が22百万円減少しましたが、リース債務が207百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は2,216百万円と前連結会計年度末に比べ、15百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し14,093百万円となりました。これは、自己株式の取得により31百万円、為替換算調整勘定が32百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が143百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度は86.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から992百万円増加し、当連結会計年度末には2,651百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は912百万円（前年同期比10.5%減）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益366百万円（同18.2%減）に対し、仕入債務の減少額80百万円（同27.7%減）、未払消費税等の減少額133百万円（同増加額212百万円）、法人税等の支払額140百万円（前年同期は還付額20百万円）などがあつたものの、減価償却費344百万円（前年同期比5.2%減）、減損損失126百万円（前年同期は一）、売上債権の減少額186百万円（前年同期比160.7%増）、リース債務の増加額223百万円（前年同期は一）、未払費用の増加額22百万円（前年同期は減少額3百万円）などがあつたこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の増加は351百万円（前年同期は減少383百万円）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出3,670百万円（前年同期比26.2%減）、投資有価証券の取得による支出109百万円（同65.0%減）、有形固定資産の取得による支出836百万円（同316.5%増）などがあつたものの、定期預金の払戻による収入4,970百万円（同4.0%増）があつたこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は253百万円（前年同期比14.7%増）となりました。これは配当金の支払額221百万円（同0.1%減）、自己株式の取得による支出31百万円（前年同期は一）があつたこと等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	85.0	84.8	86.2	86.2	86.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	55.3	57.3	52.5	37.4	42.2
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、感染症の拡大が収まらない中、現段階において今後の国内外の経済情勢を見通すことは困難な状況です。

しかしながらそのような状況だからこそ、取引先との連携を密にし、感染防止策も含め社員の安全を確保した操業体制、原料などの動向、その他さまざまな情報の交換を行ない、サプライチェーンを崩さないことを重視しながら、操業を続けて参ります。

また業績予想につきましては、感染症が蔓延するこの一年間の状況を踏まえ、現時点での状況に基づき予想したものであります。新型コロナウイルス感染症の影響はまだ残るものの、ワクチン供給に伴い経済は回復に向かうとの前提から増収を予想しておりますが、本社研究棟や福井工場生産設備増強など積極的な投資に伴う経費増加を見込んでいることから、減益となることを予想しております。

その結果、売上高6,730百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益125百万円（同73.6%減）、経常利益145百万円（同70.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益105百万円（同53.9%減）を見込んでおります。

2022年3月期の配当につきましては、現時点における業績予想からみると当期利益を超えての配当となりますが、次期以降、新型コロナウイルスの収束等に伴う売上回復から増益が見込める中、当社の配当政策の基本方針である「安定した配当」の継続を実施していく方針であり、当期と同額の30円の実施を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,630,307	6,322,799
受取手形及び売掛金	1,582,599	1,437,482
電子記録債権	311,188	270,146
商品及び製品	728,440	640,585
仕掛品	303,668	306,349
原材料及び貯蔵品	464,103	456,734
その他	45,722	29,906
貸倒引当金	△3,659	△11,017
流動資産合計	10,062,370	9,452,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,498,883	4,691,346
減価償却累計額	△3,192,976	△3,270,460
建物及び構築物 (純額)	1,305,906	1,420,885
機械装置及び運搬具	6,743,498	6,881,148
減価償却累計額	△6,266,429	△6,364,829
機械装置及び運搬具 (純額)	477,068	516,319
工具、器具及び備品	1,169,283	1,210,087
減価償却累計額	△1,008,207	△1,070,861
工具、器具及び備品 (純額)	161,075	139,226
土地	2,598,880	2,472,221
リース資産	—	203,220
減価償却累計額	—	△1,129
リース資産 (純額)	—	202,091
建設仮勘定	7,775	259,736
有形固定資産合計	4,550,707	5,010,479
無形固定資産		
借地権	49,633	46,888
その他	17,665	20,607
無形固定資産合計	67,299	67,496
投資その他の資産		
投資有価証券	1,377,231	1,682,290
従業員に対する長期貸付金	9,243	1,383
繰延税金資産	133,059	75,743
その他	25,323	34,433
貸倒引当金	△15,122	△14,910
投資その他の資産合計	1,529,734	1,778,940
固定資産合計	6,147,741	6,856,916
資産合計	16,210,111	16,309,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	467,533	432,197
電子記録債務	520,432	473,351
リース債務	—	14,902
未払金	151,896	192,424
未払費用	—	22,482
未払法人税等	110,326	94,372
賞与引当金	205,355	203,791
役員賞与引当金	28,000	—
その他	195,240	67,203
流動負債合計	1,678,785	1,500,727
固定負債		
リース債務	—	207,397
役員退職慰労引当金	62,582	70,268
退職給付に係る負債	459,849	437,827
固定負債合計	522,432	715,492
負債合計	2,201,217	2,216,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,859,108	12,865,643
自己株式	△696,010	△727,450
株主資本合計	13,833,088	13,808,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,924	276,334
為替換算調整勘定	10,835	△21,182
退職給付に係る調整累計額	△3,052	△2,346
その他の包括利益累計額合計	140,707	252,805
非支配株主持分	35,098	32,694
純資産合計	14,008,893	14,093,682
負債純資産合計	16,210,111	16,309,903

(2) 連結損益及び連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,112,062	6,360,479
売上原価	4,633,188	4,045,472
売上総利益	2,478,873	2,315,007
販売費及び一般管理費		
運賃	146,665	125,038
給料及び手当	491,803	471,992
法定福利費	93,830	91,643
役員報酬	126,513	129,462
旅費及び交通費	87,366	31,740
減価償却費	66,788	65,446
貸倒引当金繰入額	—	7,404
賞与引当金繰入額	85,821	81,457
役員賞与引当金繰入額	28,000	—
退職給付費用	44,212	42,984
役員退職慰労引当金繰入額	7,737	8,348
研究開発費	463,614	434,065
その他	407,929	351,588
販売費及び一般管理費合計	2,050,283	1,841,173
営業利益	428,590	473,833
営業外収益		
受取利息	13,545	13,652
受取配当金	11,576	10,143
為替差益	12,046	—
受取ロイヤリティー	813	352
受取補償金	6,087	4,598
助成金収入	8,671	6,000
その他	14,713	9,653
営業外収益合計	67,453	44,400
営業外費用		
売上割引	12,596	13,616
為替差損	—	1,222
持分法による投資損失	7,258	6,958
その他	1,630	2,347
営業外費用合計	21,485	24,145
経常利益	474,558	494,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	11,999	315
特別利益合計	11,999	315
特別損失		
役員退職慰労金	28,507	—
減損損失	—	126,709
固定資産除却損	7,432	1,268
ゴルフ会員権評価損	2,466	—
特別損失合計	38,406	127,977
税金等調整前当期純利益	448,150	366,427
法人税、住民税及び事業税	135,081	142,234
法人税等調整額	△4,786	△3,086
法人税等合計	130,295	139,148
当期純利益	317,855	227,279
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	316,591	227,809
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	1,263	△529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,272	143,409
為替換算調整勘定	△7,705	△33,932
退職給付に係る調整額	△2,427	747
その他の包括利益合計	△87,406	110,224
包括利益	230,449	337,503
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	229,759	339,907
非支配株主に係る包括利益	689	△2,403

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	842,000	827,990	12,763,791	△696,010	13,737,771
当期変動額					
剰余金の配当			△221,274		△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益			316,591		316,591
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	95,317	—	95,317
当期末残高	842,000	827,990	12,859,108	△696,010	13,833,088

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	210,197	18,099	△758	227,538	34,408	13,999,718
当期変動額						
剰余金の配当						△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益						316,591
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△77,272	△7,264	△2,294	△86,831	689	△86,142
当期変動額合計	△77,272	△7,264	△2,294	△86,831	689	9,175
当期末残高	132,924	10,835	△3,052	140,707	35,098	14,008,893

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	842,000	827,990	12,859,108	△696,010	13,833,088
当期変動額					
剰余金の配当			△221,274		△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益			227,809		227,809
自己株式の取得				△31,440	△31,440
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	6,534	△31,440	△24,905
当期末残高	842,000	827,990	12,865,643	△727,450	13,808,183

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	132,924	10,835	△3,052	140,707	35,098	14,008,893
当期変動額						
剰余金の配当						△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益						227,809
自己株式の取得						△31,440
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	143,409	△32,017	705	112,098	△2,403	109,694
当期変動額合計	143,409	△32,017	705	112,098	△2,403	84,789
当期末残高	276,334	△21,182	△2,346	252,805	32,694	14,093,682

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	448,150	366,427
減価償却費	363,793	344,910
減損損失	—	126,709
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,414	△1,563
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,500	△28,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△33,254	7,686
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,418	△19,460
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,938	7,404
受取利息及び受取配当金	△25,121	△23,796
為替差損益 (△は益)	△1,676	△2,966
持分法による投資損益 (△は益)	7,258	6,958
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11,999	△315
有形固定資産除却損	7,432	1,268
助成金収入	—	△6,000
売上債権の増減額 (△は増加)	71,688	186,906
たな卸資産の増減額 (△は増加)	124,256	89,555
仕入債務の増減額 (△は減少)	△110,885	△80,137
リース債務の増減額 (△は減少)	—	223,542
未払消費税等の増減額 (△は減少)	212,124	△133,347
未払金の増減額 (△は減少)	△104,081	△61,064
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,168	22,569
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△7,413	△2,821
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	18,759	18,890
その他	△2,337	△29,116
小計	971,918	1,014,238
助成金の受取額	—	12,871
利息及び配当金の受取額	26,381	25,270
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	20,653	△140,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,018,953	912,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,971,245	△3,670,949
定期預金の払戻による収入	4,781,007	4,970,939
投資有価証券の取得による支出	△311,815	△109,200
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△200,815	△836,297
有形固定資産の売却による収入	26,625	315
無形固定資産の取得による支出	—	△10,618
固定資産の除却による支出	△2,910	△400
貸付けによる支出	△5,438	△498
貸付金の回収による収入	635	8,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,956	351,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△221,405	△221,173
リース債務の返済による支出	—	△1,241
自己株式の取得による支出	—	△31,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,405	△253,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,558	△17,415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	412,032	992,153
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,336	1,659,368
現金及び現金同等物の期末残高	1,659,368	2,651,522

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに関する注記)

当社の売上高は全般的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けますが、国内外におけるワクチン接種の広がりとともに徐々に沈静化し、その収束時期は2021年後半あたりになると見込み、それを前提に会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業務を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループのセグメントは製造方法により「反応系製品」と「混合系製品」に区分しております。

「反応系製品」は主に釜設備で製造する製品で、繊維用糊剤・油剤、化粧品用樹脂、製紙・印刷用樹脂、転写用樹脂等使用用途は多岐にわたっております。

「混合系製品」は主にミル設備で製造する製品で、プリント配線板用のレジストインクなどの電子部品等に使用される製品であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は製造原価に基づいております。

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,135,268	976,794	7,112,062	—	7,112,062
セグメント間の 内部売上高又は振替高	156,423	—	156,423	△156,423	—
計	6,291,692	976,794	7,268,486	△156,423	7,112,062
セグメント利益 又は損失(△)	1,036,528	△22,745	1,013,783	△585,192	428,590
セグメント資産	7,016,670	1,091,432	8,108,103	8,102,008	16,210,111
その他の項目					
減価償却費	314,992	37,415	352,407	11,386	363,793
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	214,951	10,538	225,490	1,398	226,888

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△585,192千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額8,102,008千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
4. その他の項目の減価償却費の調整額11,386千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,398千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,463,178	897,301	6,360,479	—	6,360,479
セグメント間の 内部売上高又は振替高	147,740	—	147,740	△147,740	—
計	5,610,918	897,301	6,508,220	△147,740	6,360,479
セグメント利益 又は損失(△)	1,047,459	△20,092	1,027,367	△553,533	473,833
セグメント資産	7,359,501	928,786	8,288,287	8,021,616	16,309,903
その他の項目					
減価償却費	302,298	29,303	331,602	13,308	344,910
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	900,301	26,191	926,493	23,139	949,633

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△553,533千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額8,021,616千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
4. その他の項目の減価償却費の調整額13,308千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額23,139千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
4,613,381	2,158,141	340,539	7,112,062

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
4,043,451	1,953,796	363,231	6,360,479

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
センショウ化成株式会社	685,327	反応系製品

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	反応系製品	混合系製品	全社・消去	合計
減損損失	—	126,709	—	126,709

混合系製品グループについて、収益性の低下による減損の兆候が認められたことにより将来の回収可能性を総合的に検討した結果、固定資産（土地）の帳簿価額を回収可能額まで減額し、126,709千円を減損損失として計上しました。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,210円30銭	2,234円70銭
1株当たり当期純利益	50円08銭	36円10銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	316,591	227,809
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (千円)	316,591	227,809
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,322	6,310

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の役職の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・取締役の変動

常務取締役 古川 輝雄 (現 取締役)

・新任取締役候補

取締役 松村 正人 (現 執行役員 事業本部 副本部長 兼 研究部 部長)

③ 就任及び退任予定日

2021年6月22日